



発行所  
**聖和福祉会**  
〒519-2211  
三重県多気郡  
多気町丹生4701  
TEL 0598-48-3115  
FAX 0598-48-3783

# 新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。本年も何卒ご支援賜りますようお願い申し上げます。

福祉サービスを提供する社会福祉施設の経営主体である社会福祉法人は、社会福祉法に基づく特別法人であり、利用者とはもとより、地域社会における福祉の充実に貢献していかねばなりません。

職員の適切な支援によって、利用者の方々の人生が充実したものとなつてほしい。私どもに課せられることは、利用者様の生活支援はもろんのこと、個々の利用者様の持つ個性や天性など隠れた能力を、利用者様と共に見つけ出し、育てていくことにあるのだと。

日々の活動の中で歴史として積み上げられていかれます。多くの方々を支えられて、今の自分のある存在を思い起こして、歴史に刻まれていく。

役所生活での一齣一齣の努力の積み重ねが非常に感慨深いと思う。福祉の窓口だといえる社会福祉協議会の事務局に勤めさせていただいた頃、新日本工業の顧問をなされていた松阪市西町にお住いの(故)時田早苗さんが社会福祉協議会の会長にご就任なされ、社会福祉活動の原点

のご教示をしていただきました。

昭和六十三年の秋、時田会長の「ふるさと松阪」への思いをこめて選ばれた「松阪百景」を出版、百か所の絵筆と文章で構成されたスケッチ集は、ふるさとかげられた情熱と町づくりを考える原点の礎となるものだと思ひ起こし、胸の熱くなる思いがいたします。

多気町丹生にある障害者支援施設「聖愛園」で生活されている利用者の日頃の努力の一齣の絵画・・・第五十四回「松阪市美術展」に五名の方が応募され奨励賞一名、入選四名となりました。創作活動の時間に描かれた作品が「松阪市美術展」で入選されること今年で三回目、利用者様の歴史が刻まれていきます。

千利休の歌に「稽古とは、一より習い、十を知り、十よりかへる、もとのその一」とあります。

昔から「見たり、聞いたり、試したり」という言葉もあります。「なすことによつて学ぶ」という実践的勉強法も一番力になり、身につくものだと考えておりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

本年も皆々様のご多幸を心よりお祈りいたします。



社会福祉法人  
聖和福祉会  
理事長  
山岡隆

新年あけましておめでとうございます。社会福祉法人聖和福祉会は、多気町丹生の「聖愛園」と松阪市山室町に本年四月開所予定の障がい者通所支援事業所「サニープレイス」を運営させていただく事になります。

### 「サニープレイス」の概要

- 場所 松阪市山室町二五八〇番地
- 敷地面積 三三三.三㎡
- 構造 木造平屋建
- 床面積 五三七.一三㎡
- (一六二.五坪)
- 利用定員 当面は二〇名
- 事業内容 当面は生活介護

松阪多気郡管内で、今後十年間に、何らかの障がいのある七百名以上の方々から十八歳になられるといわれています。この地域の入所施設の現状はどの施設も満杯で多くの入所待機者を抱えています。通所施設も不足している中から、当法人としては、松阪市役所の障害福祉課との

連携の下に在宅の障がいのある方々の支援をさせていただくべく「サニープレイス」建設に至りました。ここ最近、幾つかのNPO法人が通所支援事業所を立ち上げられ、障害のあるの方々には大変喜ばしい状況になりつつあります。当法人としては、他法人様の既設の通所支援事業所と連携を保ちつつ事業の展開を図っていきたく思っています。

「サニープレイス」の背後には入所施設「聖愛園」がありますので、在宅でご家族が介護に疲れたり、所要のある時には、「聖愛園」での短期入所を利用していただいたり、将来、認定区分・支援区分が重くなり在宅での生活が困難になった場合には、「聖愛園」に入所と幅広く両施設を活用していただくことができま

す。当法人は、今後も障がいのある方々の更なる支援の拡大を図っていくべく努力をさせていたきたいと考えております。最後に、利用者の皆様、ご家族の皆様、聖和福祉会に関係する皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。



社会福祉法人  
聖和福祉会  
常務理事  
戸野和雄

# サニープレイス 開所にあたり



竣工間近のサニープレイス



オープニングスタッフ

新年あけましておめでとうございま  
す。本年も宜しくお願い申し上げます。  
さて、当法人が松阪市山室町に建築  
中の障がい者通所支援事業所『サニ  
ープレイス』は、間もなく竣工を迎える  
予定で、現在は四月一日の開所に向け  
て準備に慌ただしい毎日となっております。

当法人が通所支援事業所の開設に  
向けて動き出してから早二年になり  
ますが、多くの皆様のお世話になり  
ここに至る事が出来ました事に心よ  
り感謝致します。見学をお願いを快  
くお引き受け下さいました県内の  
数多くの通所関係事業所さま、用地  
の確保にご尽力いただきました(株)カ  
インドフアクトリーさま、素晴らし  
い建物を設計、建設していただきま  
した(株)アスカ総合設計さま、(株)山口  
工務店さま、そして関係の行政の方々ほか、すべての皆様に深  
く御礼申し上げます。

サニープレイスは当面の間、定員二十名の生活介護事業所と  
して運営させていただく事になります。オープニングに携わり  
ますのは、私を含め通所事業に経験の乏しい職員になりますの  
で、より良いサービスを提供したいと思いつつも活動内容な  
ど手探りの部分が多く、正直なところ不安もありますが、一歩  
一歩確実に歩みを進め地域の障がいのある方々のお役に立てる  
ように精一杯努力して参りたいと思っております。

本年もご指導・ご鞭撻のほど何卒お願い申し上げます。

総務部長 戸野歩

## 三知協施設研修

奈良・京都の施設視察

十一月七日〜八日、一泊二日の施設  
視察研修会に参加しました。  
奈良県にある社会福祉法人青葉仁会、  
京都府にある特定非営利活動法人京都  
ほつとはあとセンターと社会福祉法人  
南山城学園に視察に行きました。  
社会福祉法人青葉仁会は、広大な自  
然の中にあり施設内は壁や扉が色分け  
されている等、障がいのある人にやさ  
しい設計になっていました。

また、支援の中に自然を生かしたア  
ウトドアプログラムを豊富に取り入れて、アウト  
ドア派な私にとっては、とても共感しました。施設か  
ら少し離れた場所に、カフェとmountainショップがあ  
りカフェはたくさんのお客さんと賑わっていました。  
また、利用者さんの絵がmountainのTシャツのデザイ  
ンに採用されていて、利用者さんの隠れた才能を見出  
されていて感銘を受けました。

京都ほつとはあとセンターは嵐山にあり、ぬくもり  
溢れる手作りの作品が展示販売されていて、大勢のお  
客さんと賑わっていました。

社会福祉法人南山城学園は、広大な土地の中にさま  
ざまな施設(自閉症対応型、地域移行型就労センター、  
準高齢者・若年重度対応型、高齢者対応型、診療所)  
がコロンニー化して建てられていました。まさに「ゆり  
かごから墓場まで」が当てはまる最先端の法人経営だ  
と思ひ感銘を受けました。



今回の施設視察研修は、私にとつ  
てこれからの支援や将来の施設の  
在り方を深く考えるいい経験にな  
りました。これからも、色々な活  
動や研修に参加し柔軟に吸収して  
スキルアップしていきたいと思  
います。

生活支援員 島田聡

## 防災訓練

二〇一一年に起きた東日本大震災からも  
うすぐ二年が経とうとしています。未曾有  
の被害であり多くの人々が被害を受け現在  
も復旧作業が続いています。



当園では利用者様が安心して生活できる  
ことを第一に考えて支援  
を続けていますが、その  
中で何時起こりうるか分  
からない災害に備えて様々  
なケースを想定して訓練  
に励んでいます。また、  
年に数回は消防署から園  
に来て頂き、心肺蘇生術、  
AEDの使用法、消火  
訓練等を直接指導して  
いただいて緊急時にも対応  
できるように学んでいま  
す。



四月からは新しい事業  
所が立ち上がり、法人と  
して大きくなることから  
災害時のマニュアルを見  
直しました。各職員が災害が起った場合  
に自分はどう動くべきであるかを把握し、  
利用者様をより安全に災害から守れるよう  
に職員の災害に対する意識や知識を高め、  
何時どんな災害が起きても慌てることなく  
避難が行えるように今後も訓練を続けてい  
きたいと思ひます。

生活支援員 中川薫

聖愛園にお世話になるようになってから間もなく四年になろうとしています。後輩もたくさんでき、仕事を教える機会も多くなってきました。いわゆる中堅という立場です。

私自身、先輩にも恵まれ仕事を丁寧に関わりやすく教えていただきました。同じように後輩にも、わかりやすく教える事を第一に考えています。例えば、ある一つの業務でもなぜこの業務が必要なのか、どうしてこの業務をする事になったのかという経緯等を具体的に話すようにしています。未経験の職員も少なくないので、より早く現場の様子をたくさん経験してほしいという思いからです。



チームワークとは、皆が同じような考え方で同じ方向に向かって動いていく事です。その為には、まず自分を知り、相手の立場で考え、自分と相手を第三者が見たらどう思うか、客観的な立場で考えられるような人間関係を築いて行く事が自分の役目だと思っています。

生活支援員 植村元紀



聖愛園に勤めて六か月が過ぎました。以前の職場が老人介護だったこともあり、介護には少し自信がありました。利用者の方はそれぞれ個性があり最初は何をしたいのか、伝えたいのかが分からず苦戦しました。

聖愛園では介護だけではなく「共に生きる」という理念のもと仕事をすることを教わっています。先輩方にも丁寧な指導して頂き徐々に仕事に慣れてきました。

日々の活動の中では、普段あまり部屋から出て来ない利用者さんが自分の好きなこと得意なことを積極的に行っている姿を見て感動し、自分もしっかり頑張らなければと思いました。

今は利用者みなさんと毎日会話をし、その日の体調や気持ちをくみ取るように心掛けています。これからも利用者の方にはケガ無く安全に毎日楽しく過ごして頂けるよう努力していきたいと思っております。同時に、自分自身も成長していきたいと思

生活支援員 岡村悠斗

## 職員の声

### 急変時こそ慌てず 確実に人命救助を！

#### 医務室より

聖愛園では、年二回心肺蘇生術研修を行っています。今回は、松阪広域消防の救急救命士ご協力の下、車中での急変を想定した訓練を実施したのでご紹介します。

I 急変を確認したら直ちに安全な場所に停車する。

II ① 運転手は、救急依頼

電信柱の番号、近隣の建物などを説明する。高速道路であれば、上り・下りに加えて高速ポイントを伝える。同乗している職員は心肺蘇生術の実施

II ② 急変した利用者様を安全で平らな場所へ移動し、心肺蘇生術を開始する。

車内が狭く心肺蘇生術が出来ない場合は、毛布、担架を利用し車外に(出来れば車の前)移動し、心肺蘇生を行う。

III 救急車が到着したら、救急隊員の指示に従う。

IV 聖愛園へ報告を行い施設管理者の指示に従う。

以上の内容を実践研修しました。

今回の研修は外出中の急変を想定したため救急救命士への質問も多く、危機感、緊張感を持って取り組むことが出来ました。今後も、色々な場面を想定した研修を継続することで利用者様の安全を確保したいと思います。

看護師 木下明美

栄養ケア・マネジメントとは、低栄養状態を早期に発見し適切な栄養ケアを実施するというものです。

● 栄養スクリーニング：BMI（肥満度）や体重減少率等から栄養状態を判定します。

● 栄養アセスメント：身体計測、食事摂取量、臨床検査値等、多職種からの情報とスクリーニングから栄養状態を総合的に評価・判定します。

● 栄養ケア計画の作成と実践：解決すべき課題・長期目標と期間・短期目標と期間を定め、実践します。

● モニタリング・評価と栄養ケア計画の見直し：栄養ケア計画に沿って栄養ケアを実施し、三か月毎に目標と比較し評価します。

また、給食管理についても、栄養基準の設定、食事計画、調理、提供、食事内容の評価及び見直しといった、いわゆる計画→実施→検証→改善のマネジメントサイクル（PDCAサイクル）により実施しています。



しかし、様々な角度から弾き出した数値だけで判断するのではなく、利用者様おひとり、おひとりの生活習慣や食習慣を十分に加味し、個人に合わせた食事の提供を常に念頭に置き、食事の様子や嗜好・咀嚼・嚥下状態、更にはご家族様を始め、看護師や生活支援員からの情報を取り入れ、健康管理・栄養管理に努めています。利用者様やご家族様と持たせて頂く会話からもたくさんさんのヒントや気付きを頂戴しています。

新しい年を迎え、食の面からではありませんが、昨年以上に利用者様の心に寄り添ったケアを心掛けて参ります。

栄養士 羽根めぐみ

## 栄養ケア・マネジメント

# 第14回聖愛園 クリスマス会



十二月八日に、第十四回クリスマス会が開催されました。クリスマス会に向けて利用者さんが作ったたくさんの飾りつけに囲まれて盛大にスタートしました！

理事長の開会の挨拶から始まり、全員でクリスマスソングの大合唱、そして利用者さんが日頃から練習を重ねたハーモニカ演奏「きらきらぼし」「ふるさと」を披露しました。日頃の練習が実を結び・・・見事大成功でした！

そして男子職員の余興です。仮装をしてダンス、歌を披露しました。利用者さんからも「かわいい」と声が上がっていました。

ケーキを食べながら休憩し、ハーモニカボランティア団体の方々によるハーモニカメドレー！つついづい聞き入ってしまいました。

そしてお待ちかねのサンタさんからのクリスマスプレゼントの時間です！みなさんドキドキ、わくわくしながら中身を確認していました。

今年も利用者のみなさん、ご家族のみなさん、ボランティアのみなさんのおかげで素敵なクリスマス会になりました。ご協力ありがとうございました。そして職員のみなさん、お疲れ様でした。

クリスマス会担当 生活支援員 南坂綾香



三重県障がい者芸術文化祭にて  
A・TさんとK・Yさんが見事入賞されました！お二人とも松阪市



『行動』  
A・Tさん



『街』  
K・Yさん

**見事連続  
入賞！！**

美術展覧会でも昨年に続き連続入賞されています！

## 一泊旅行



毎年の恒例行事としてみなさんが楽しみにされているのが「旅行」です。昨年は九月末より十一月初めにかけて八つのグループに分かれて行方一方、熊野かんぼの宿に一泊にて出かけるグループもありました。

今年はどうのような形で行おうかと検討を重ねた結果、一日の行事としては、一年を通して気候のよい時にでかけることとし、春先の暖かい時期に伊勢神宮や水族館に出かけました。また、



昨年は三〜四名ずつのグループで行いましたが、今年はあるべく少人数で実施し利用者様の希望に添えるよう心がけています。このような形で三月までに皆さんに楽しく参加してもらえよう計画していきます。

一泊で出かけるグループについては、年度初めにバリアフリーセンターというNPO法人に協力を依頼して行き先を検討し、志摩スペイン村に行ってきました。温泉につかりのんびりしたり、ショーなどを楽しんだり、いつもと違う布団に戸惑う姿が見られたり・・・とても楽しい一泊旅行となりました。

来年はどこに行こうか、今から楽しみです！

支援部主任 鎌倉喜昭

御厚情深く御礼申し上げます

自平成二十五年七月十六日  
至平成二十六年一月十五日

ご芳志ご芳名 敬称省略)

保護者会・西村郁三・水谷英男

本田敏・中川和子・安藤陽子

(株)マルエイ

物品寄付ご芳名 敬称省略)

本多師子・加藤八洲和・水谷英男

馬野悦夫・山野弘子・早崎喜代子

神廣かよ・武田スミヨ・小松枝美子

西村郁三・岩城央生・中野久子

中野智恵子・樫尾智仁・粉川幸子

竹原靖志・仲徹郎

(株)マルエイ・(株)西組・小山(株)

丸晋・三光運輸・松阪興産・丹生大師

ルーベンハイム・三重リコピー販売

(株)トモ・でんきや・庄司保険事務所

カインドフアクトリー・脇坂賢

山岡隆・島田真美

(他にも匿名で品物を頂戴しております。)

機関紙ひだまり第三十九号を発行させて頂いたいただきました。ご一読いただければ幸いです。宜しければブログ『聖愛園☆活動日記』もご覧下さい。

<http://seiaien.exblog.jp/>



編集

事務員 久保加奈子